

環境対応に印す足跡

日本および韓国での Rubber Day の開催に向けて、ランクセスでテクニカルラバープロダクツビジネスユニットのトップを務めるギユンター・ヴァイマンス博士と会談し、世界規模でのエネルギーバランスと持続性のある開発、および特殊化学企業の受け入れ国がそのノウハウから得ることができる具体的な利点についてお話を伺いました。



ランクセス：「Innovations for Greener Mobility, The Greener Road to the Future! (環境対応型車社会を推進する技術イノベーション)」 Rubber Day Japan および Rubber Day Korea に向けてランクセスが選択した標語は、持続性と環境配慮の思考に重点を置くことを如実に示しています。ヴァイマンスさん、このような製品開発にランクセスはどのように取り組んでいますか。

ギエンター・ヴァイマンス博士：当社では、すでに最新の高性能ゴム製品を幅広く豊富に提供していますが、これらの製品は持続性の概念を特に重視しながら、その用途を世界中に広げ続けています。

このような高度な製品開発は、どのような分野に生かされていますか。

世界中に残すことを目指している環境重視型二酸化炭素排出対策の好例として「KELTAN Eco」があります。この EPDM ゴムはサトウキビを原料として生産されており、さまざまな樹脂加工業界、特に自動車製造業界で使用されています。品質の面からいうと、このバイオベースのエチレンはその競合品に匹敵する品質を有すると同時に、二酸化炭素排出量を削減し、エネルギーバランスを改善しています。

当社は、ブラジルの Triunfo 工場では世界中の市場向けに年間約 10,000 トンの KELTAN Eco の生産を開始しています。最初の 500 トンはすでに販売済みです。

自動車産業とエネルギーバランスが良好にかみ合っている具体的な例を挙げていただけますか。

はい、当社が Therban という商品名で生産しているハロゲン化アクリロニトリル-ブタジエンゴム (HNBR) があります。



大きな負荷に対応可能：特殊 HNBR ゴム製の歯付きベルトは、通常の二次駆動の形態でオートバイのチェーンを置き換えようとしています。

ドイツと米国での生産能力を大幅に増強することで、この製品に対して増加する需要に対応しています。HNBR の応用例として、車のエンジンのバルブ制御に使用する歯付きゴムベルトがあります。

これを使用することで、エネルギー効率の面でどのように利点が生まれるのですか。

従来のスチールチェーンに比べると、この高性能合成材料を使用することで車重を削減でき、しかもベルトの寿命が短くなることはありません。また、摩擦が少ないので燃費にも好影響があります。

インドと中国で特に大きな需要があります。

日本と韓国でこの傾向が短期間のうちに拡大した理由は何ですか。

走行距離 100km で 0.1 リットルの燃料節減はたいした利点ではないように思えるかもしれませんが、韓国ですべての新車に Therban ゴム製の歯付きベルトを使用したと考えると、年間の燃料節減量は 9,000 万リットルから 1 億 3,500 万リットルにもなります。



車社会の将来は環境対応型社会です。ランクセスの高度テクノロジーゴムを採用したタイヤはその象徴です。

日本では毎年万台の新車が登録されているので、この節減量は韓国の2倍ほどになります。

流動性と都市化の巨大なトレンドに押されて、世界の成長市場は急速に発展しています。この速さに追い付いていくにはどうすればいいでしょうか。

大きな需要に応えながら資源の保全を図るために当社が高性能ゴムでとった戦略を示す例を今いくつかご紹介しました。目標とする成長を世界中で押し進めながら、イノベーション、高度な最新テクノロジー、持続性を生産と製品に維持することが、この急速な発展の中で生き残り、さらにはそれを積極的に形成していくための要点となります。

人物紹介

ギエンター・ヴァイマンス博士は、2004年1月からランクセスでテクニカルラバープロダクツビジネスユニットのトップを務めています。

同博士は、ドイツの **Sevelen** で 1957年9月25日に生まれました。

ボン大学で学び、そこで理論物理学の博士号を取得しています。同博士は、1985年に **Bayer AG** で

その経歴を開始しました。高分子研究における5年間のプロジェクト

マネージャーを経て、レバークーゼン（ドイツ）、

ベイトウン（米国テキサス州）、ピッツバーグ（米国ペンシルバニア州）で

さまざまな管理職を務めました。同博士が歴任した重要な職位には、

グローバルプロセス技術グループの責任者、テキサスにある

ポリウレタン事業グループの主任技術者、ポリウレタン部門の

グローバル CTO、バイエルの TDI 事業でのトップなどがあります。

ギエンター・ヴァイマンス博士は、2004年からランクセスで

テクニカルラバープロダクツビジネスユニットのトップを務めています。ここで同博士は、

ランクセスにおける **HNBR**、**EPDM**、**NBR**、**CR**、**EVM**、**FKM**、ネオプレーンの

総責任者として活躍しています。

また、2007年の初めからの2年間、同年の7月初めより

ランクセスの関連企業である **Aliseca** の管理下となつて

いるテクニカルサービスのトップを務めました。同時期には、

ランクセスの物流サプライチェーングループ機能の責任者にもなっています。